

《経営理念》

技術で世界に"+1"

《発足》

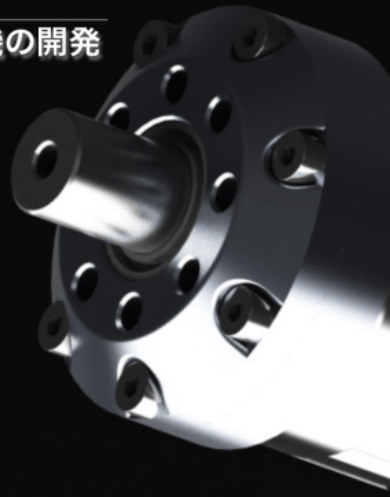
2014年に大石克輝・野村泰暉が高専入学式3日後に結成、5月15日に創設したベンチャーサークル『ビッグストーン・ラボ』が、自社特許技術の普及・研究拡大を目指して設立した大学生・高専生発ベンチャー企業です。

2018年には、サイクロイド減速機の特許を元に法人化し、事業を本格化させました。

リアルテックにを中心に、主にロボティクス基幹技術の独自研究・開発をしております。

《サイクロイド”減速”機で日本のロボット開発を”加速”させる》

日本のロボット開発を加速させる
超小型サイクロイド減速機の開発



Presented by
+1 Big Stone Labs.

減速機とは、ロボットの関節部分などに使われている、モーターの速度を遅くする代わりに、強さを上げる装置のこと。

既存の製品では「重い」「壊れやすい」「値段が高い」等の問題があり、ロボット設計・製作における大きな課題の1つである。

その中でサイクロイド減速機は、小型で軽量という使いやすい製品であるが、歯車の特性上強固な材料を使わなければならず、値段が高いというのが問題であり、日本ではあまり普及していない。

私たちは、サイクロイド減速機のメリット「小型」「強固」を活かし、かつ「値段が高い」というデメリットを克服し、従来の3分の1以下のサイズを達成できた。現在はその技術をもとにロボットの小型化・低価格化、そして高機能化を目指している！（特許出願中）

2018年 総務省「異能vation」

- ・破壊的な挑戦部門 ファイナリスト
- ・ジェネレーションアワード部門 ノミネート

2018年 リバネス「テックプランター」

- ・LT登壇・特別展示

2018年 リバネス「SFセミナー」登壇

2019年 高専キャリア全国大会 登壇



《主要役員紹介》



代表取締役社長 技術開発部長

大石 克輝 Oishi Katsuki

1998年 新潟県長岡市出身・在住
長岡高専機械工学科 5年在学

2017年度NHKロボコン関東甲信越大会優勝・全国ベスト4に貢献。現在はサイクロイド減速機を中心に「+1」できる研究を進めている。得意技はロボット設計と軽量化。大事な場所には作業着で行く。専門は機械設計・放電加工。

【兼任】学生団体NADO 顧問（元代表）、Nagaoka StartUp コーチ。



取締役副社長 法人戦略部長

野村 泰暉 Nomura Taiki

1998年 新潟県長岡市出身・東京都品川区在住
武蔵野大学法学部法律学科 2年在学

文系出身者だが、「ベンチャーの相方探し」で長岡高専に進学し、入学3日目で「ビッグストーン・ラボ」を設立。その後3年次で大学進学。担当分野は会社防衛・法人運営戦略。

【兼任】株式会社高専キャリア教育研究所 顧問、越後まちづくりオフサイドミーティング 顧問、学生団体NADO 顧問（元代表）。



専務執行役員 技術企画部長

高島 孝太 Takashima Kota

1998年 新潟県新潟市出身・新潟県長岡市在住
長岡高専電子制御工学科 5年在学

大石とロボコン部で出会い参画。技術における相方。主に設計やデザインを担当。「小さくできる」「美しさを追求」など、製品への愛が人一倍熱い。専門は機械設計。